



ブラケット EURO <ユーロ> (LPJ-4型)

取付説明書

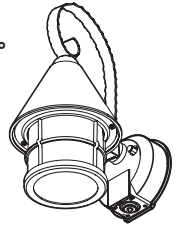
保管用

お客様へ

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様にお渡しください。



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

取付面

- 次のような場所には取り付けない
火災・感電、落下によるけがのおそれがあります。
 - 浴室などの湿気の多い場所
 - 補強のない場所 (ベニヤ板や石こうボードなど)
 - 天井面
 - 据置取付
 - 取付面が本体パッキンより小さい場所
- この器具は防雨型・壁面取付専用です。



禁止

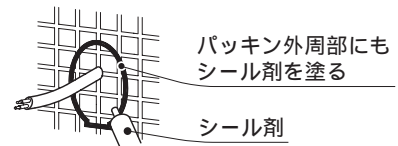
その他

- 器具の取り付けは、説明書に従い確実に
取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。
- 電源線は端子台の差込み穴の奥まで
確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。
- 検知部が下になるように
取り付ける
浸水による感電のおそれがあります。
- 取付面と本体パッキンのスキマおよび
パッキン外周部にシール剤を塗る
本体パッキンと取付面とのすき間を
防水シール剤などで埋めてください。



必ず守る

検知部



パッキン外周部にもシール剤を塗る

シール剤

防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

■ 壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、
一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。
- 調光器の取り外しが必要です。



必ず守る



アース線
接続

- 接地工事は、電気設備の技術基準に従い
確実に
接地が不完全な場合、感電のおそれ
があります。

注意



●温度の高くなるものの近くに取り付けない
火災の原因となることがあります。
ガス機器やその排気筒の近くに取り付けしないでください。

施工前にお読みください

設置場所についてのご注意

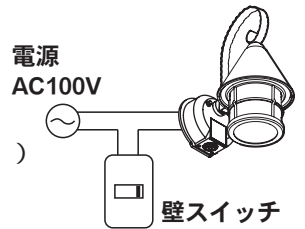
●次のような場所には取り付けしないでください。
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に
取り付けると誤動作の原因となります。

<p>✕ 反射の強い床面のある場所</p>	<p>✕ 風などでよくゆれる植物の近くなど</p>	<p>✕ 取付高さが3mを超える場所</p>	<p>✕ エアコンの吹き出し口、換気扇の近く</p>
<p>✕ 交通量の多い道路に面した場所</p> <p>車などより大きな熱源の場合、取扱説明書記載の検知範囲より広くなります。</p>	<p>✕ 前面に障害物のある場所 (透明なガラスも含む)</p>	<p>✕ 振動の激しいボールなど不安定な場所</p>	<p>✕ 昼間でも暗い所や夜間でも明るい場所</p>

一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

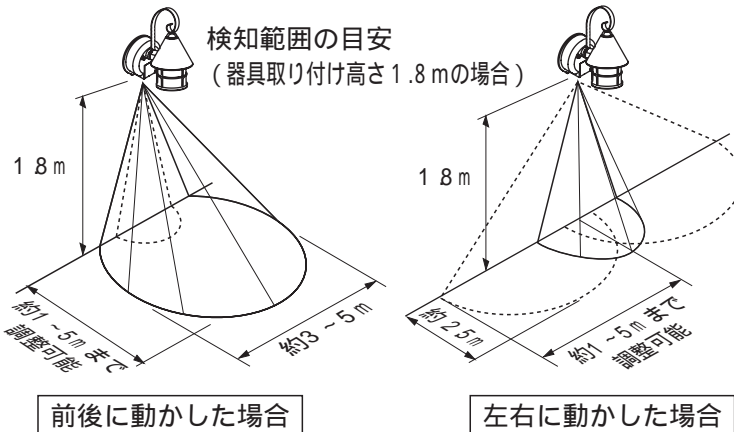
配線についてのご注意

必ず壁スイッチを設けてご使用ください。(スイッチは別途ご用意ください)
 ・連続点灯への切り替え操作ができません。
 ・センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。
 壁スイッチは器具1台につき1個設置してください。複数台を1個のスイッチに配線すると、点灯状態にパラツキが発生するおそれがあります。
 ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につき、スイッチ3個までで、ご使用ください。
 (4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯ないことがあります。)
 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチが0Nの状態でも照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。(故障ではありません)
 通常は壁スイッチを0Nにした状態でご使用ください。



センサの検知範囲

センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。
 (センサの検知部は全方向に約20度動きます)
 器具の取り付け高さ1.8m(標準)~3mの間では、検知範囲は変わりません。



ご注意

この照明器具のセンサは熱源の温度変化を動きとして捉えます。そのため人以外にも動植物、自動車なども検知します。また周囲条件(気温、地面の状態、取り付け高さなど)、進入する人の状態(服装、移動速度、進入方向、体温など)により検知範囲が大きく変化します。

- 検知範囲が広がる場合
 - ・冬場など気温と体温の差が大きいとき
 - ・人よりも大きな熱源(車など)が移動したとき
- 検知しない、検知感度が鈍い場合
 - ・人が静止しているとき
 - ・周りが明るいとき
 - ・夏場など気温が体温に近づいたとき
 - ・センサに向かってまっすぐ近づいたとき
- 勝手に点灯する場合
 - ・道路を通行する人、車、犬、猫などを検知したとき
 - ・風、雨、木のゆれなどを検知したとき
 - ・急激な温度変化を検知したとき
 - ・換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機などの温度変化の影響を受けたとき
 - ・ごく短い停電(瞬時停電)が発生したとき

調整ツマミの設定について

この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。必ず、「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

各部のなまえと付属部品

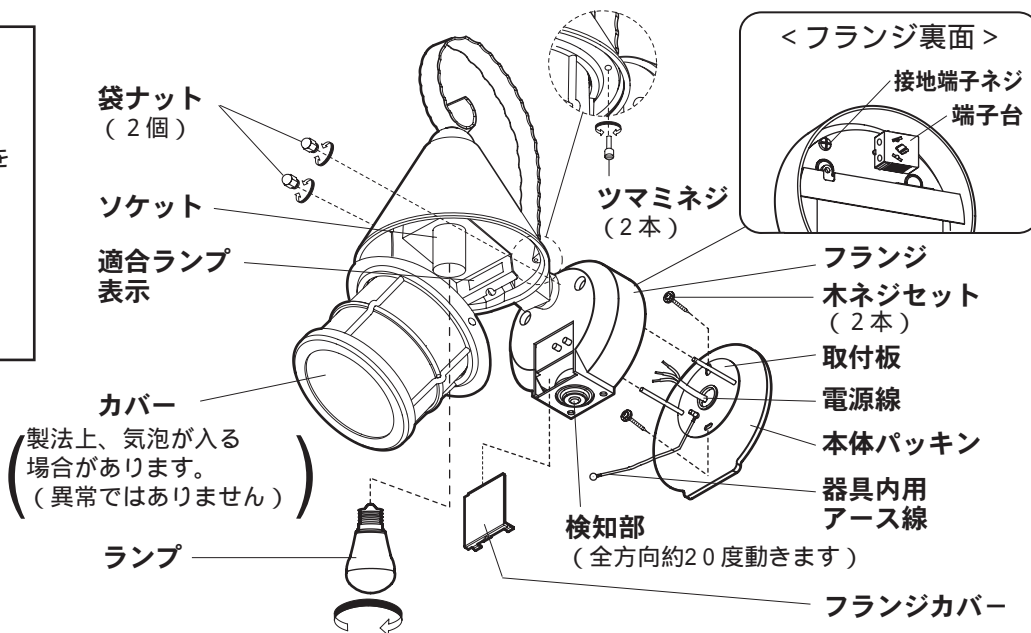
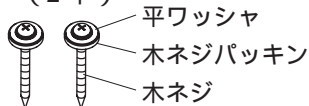
施工する前にまず付属部品をご確認ください

施工前のご準備

ツマミネジ（2本）を取り外し、カバーを取り外す。
ソケットにランプを取り付ける。
ツマミネジ（2本）で、カバーを取り付ける。
袋ナット（2個）を取り外し、取付板を取り外す。
フランジ裏面の接地端子ネジを取り外し、フランジから器具内用アース線を取り外す。

付属部品

□木ネジセット（2本）



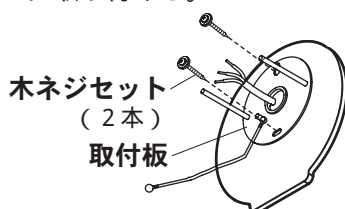
照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

付属の木ネジセット（2本）で

1 取付板を取り付ける

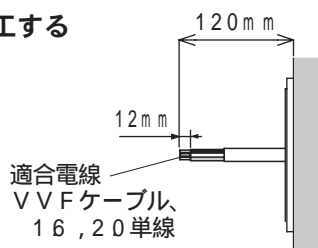
壁面の補強材のあるところに取り付ける。
木ネジに平ワッシャ・木ネジパッキンが取り付いていることを確認する。
取付ピッチ：66.7mm



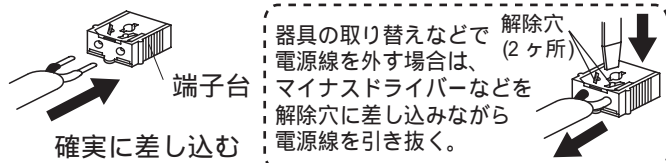
端子台に

2 電源線を接続する

①電源線を右図のように加工する



②電源線をフランジ裏面の端子台に差し込む



③接地端子ネジからD種（第3種）接地工事を行う 器具内用アース線と電源線側アース線を同時にフランジ裏面の接地端子ネジに取り付ける。

袋ナット（2個）で

3 フランジを取り付ける

袋ナット（2個）で確実に締め付ける。



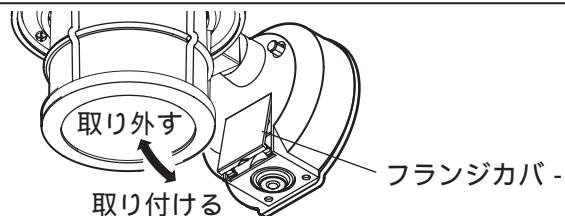
注意

アース線をフランジではさみこまないこと
感電、漏電の原因となることがあります。

4 検知範囲と調整ツマミを設定する (次ページ参照)

調整ツマミの設定はフランジカバーを取り外して行ってください。

フランジカバーの取り付け・取り外しかた



注意

フランジカバーは必ず取り付けて使用する
浸水による感電、故障の原因となることがあります。

検知範囲と調整ツマミを設定する

昼間でも設定できます

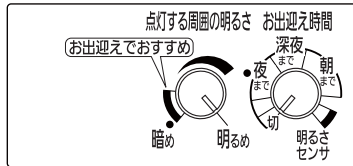
- 設定の前に
- ①壁スイッチをOFFにする
 - ②フランジカバーを取り外す

1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

出荷時の設定

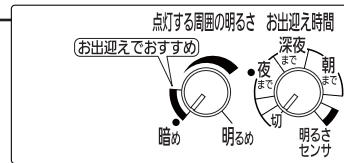
[手順]

- ①あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



点灯する周囲の明るさ
お出迎え時間

「明るめ」(右いっぱいに戻す)
「切」(左いっぱいに戻す)



- ②検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する

検知部は、全方向に約20度動きます。
センサの検知範囲は、 2ページ「センサの検知範囲」を参照ください。

- ③壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る

➡ 約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は、以下の原因が考えられます。

お出迎え時間が「切」になっていない	お出迎え時間を「切」にする
センサの検知範囲に入っている	センサの検知範囲から外に出る
連続点灯になっている	壁スイッチを一度OFFにし、5秒以上おいて
(検知部が赤く光ったまま)	再び壁スイッチをONにする

- ④消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する

センサの検知範囲の外に出てから約5秒後に消灯します。

2 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

以下の3種類の使い方ができます。(詳しくは 取扱説明書3ページ)

使いかた	お出迎えモード	ON/OFFモード	明るさセンサモード
動作	暗くなったら点灯 設定時刻になると消灯 設定時刻以降は人が近づいたときに点灯	暗くなって、人が近づいたときに点灯	暗くなったら点灯 明るくなったら消灯
おすすめのツマミ設定			
詳しい設定方法	取扱説明書4ページ	取扱説明書5ページ	取扱説明書6ページ

3 フランジカバーを取り付ける

3ページ「照明器具を取り付ける」 **4** 参照

4 壁スイッチをONにする

➡ スイッチONにした直後は周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

ご注意 お出迎えモードに設定した場合
壁スイッチをONにした初日は、手順2で設定した「お出迎え時間」ツマミの位置に
関係なく、お出迎え点灯は約4時間で終了します。翌日より設定した時刻通り終了します。

取説コード
Z477